

四季折々の詩

麻里布中学校
令和8年7月17日 No.260
Tel 22-2234 FAX 22-2235



教育目標の具現化に向けて、具体的な取組を協議

7月2日、今年度第2回学校運営協議会・第1回学校保健委員会が開催されました。この度は、参加者を拡大し、学校運営協議会委員に加え、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、教職員、生徒会代表、育友会、地域の方の総勢50名が参加し、キャリア部会・学び部会・心と体部会の3部会に分かれ、それぞれの立場から、学校教育目標の具現化に向けて、具体的な取組を協議しました。各部会から出された案は次のとおりです。ここでの協議内容を参考に、これから取組を進めていきます。



キャリア部会・・・体育祭や文化祭を通して、地域の人・もの・事とつながる視点で、
「岩国弁ラジオ体操を行う」「文化祭でフラワーアレンジメントなどの体験ブースを設ける」「地域に関する放送をする」
学び部会・・・「地域の方とのあいさつ運動を広げる」「うち読（家庭で読書に親しむ日）を児童生徒だけでなく家族にも広げる」
心と体部会・・・「朝食の大切さを考える講演会の開催を広く周知する」「レシピコンテストをする」「地域清掃に参加する」

参加した生徒は、この度の話し合いを通して、「自分の考えが広がった。深まった。」「話し合ったことを実践したい。」と言った感想をもっています。これからの取組と成果が期待されます。

コミュニケーションについて学ぶ

6月29日、江藤スクールカウンセラーを講師に、1年生を対象としたアサーティブコミュニケーションについて学びました。アサーティブコミュニケーションとは、「自分の意見や気持ちを率直に誠実に伝えつつ、相手の立場や意見も尊重する。」ことです。

このポイントは次の4つです。

- ①自分にも相手にも嘘をつかず向き合う（誠実）
- ②自分の言葉でストレートに伝える（率直）
- ③立場や役職にとらわれない（対等）
- ④自分の発言や選択に責任をもつ（自己責任）

生徒は、場面に応じたやりとりを考える中で、相手の立場を尊重しながら、自分の考えを伝える言葉を考えました。



和装着付け体験

7月3日、国際ソロプチミスト岩国、日本舞踊協会、藤間流藤紫会の方を講師にお迎えし、家庭科の授業の一環として和服の着付けを学びました。「自分で着られるようになること」「きれいにたためること」を目標に授業が進められました。1回目は講師の先生に教えていただきながらなんとか着ることができていました。2回目は、一人で着る生徒や友だちの手伝いをする生徒もおり、学びが定着していることがわかりました。生徒は「かわいい。」「これを着てお祭りに行きたい。」と口々に話をしていました。



岩国を知る

本校では、総合的な学習の時間を中心に、自分たちの「街・人・もの」を素材として学習する中で、「地域への誇りや愛着を高めること」や「より良い社会づくりを行う気持ちを醸成すること」をめざして教育活動を進めています。その一つとして、1年生と2年生が、自分たちが生活する岩国を知る活動を行いました。

7月6日、2年生は、岩国市役所の4課の方を講師にお迎えし、岩国市の活性化に向けた課題と取組について学びました。4課からは、岩国市の最大の課題は人口減少であること、その主な対策として、魅力あるまちづくりや安心して生活できるまちづくり、子育て支援、働く場の確保など、様々な手立てを実施しているとのことのお話がありました。また、講師の方からは、「課題を課題で終わらせない。どのようにして解決していくかを考えていくことが大切である。」「岩国市への愛着と誇りをもってほしい。」といったメッセージも添えられ、岩国市について考える貴重な機会となりました。



7月10日、1年生は、「SDGsと私たちの街 岩国」のテーマのもと周南公立大学 高橋准教授と岩国徴古館 三浦学芸員を講師にお招きし、SDGsと岩国駅周辺空襲について学びました。SDGsは「2015年に国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標」で17の目標から構成されています。この目標を達成する当事者は人間一人ひとりであることを意識して、その担い手であることを学びました。また、80年前に岩国駅前空襲で多くの人が犠牲になったことを学び、平和への願いを新たにしました。



1・2年生は、この学習をきっかけとして、それぞれが課題に感じたことを1年間かけて深く学び、整理していくこととしています。今後の学びに注目してください。

思いやりの心を高めた学級祭

7月8日～10日、学年ごとに総務委員会主催による学級祭が開催されました。実施種目は「紙飛行機とばしや」「伝言ゲーム」「ジェスチャークイズ」など、各学年とも、誰もが参加しやすいように工夫され、とても楽しそうに参加している姿が見受けられました。7月の生活キーワードは「思いやりの心を知る」です。学級祭の運営や参加を通して、人を思いやり、気遣う心や感謝する心が、さらに醸成されています。



ボランティアによる花壇作業

6月29日、花壇の花の植え替えを行いました。当日は、地域の方やボランティアで参加した生徒、総勢100人が参加し、色とりどりの花の苗を植えました。穴を開ける人、肥料をまく人、苗を植える人、水やりをする人など、それぞれが全体を見渡し役割分担をすることであっという間に作業が終わりました。

